

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公表番号】特表2015-532019(P2015-532019A)

【公表日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-068

【出願番号】特願2015-516098(P2015-516098)

【国際特許分類】

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

H 0 4 M 1/738 (2006.01)

H 0 4 N 7/15 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 13/00 3 0 7 C

H 0 4 M 1/738

H 0 4 N 7/15

G 0 6 F 13/00 5 5 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リアルタイム通信イベントのデータを処理するよう構成されている受信機であって、前記受信機は、リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されている処理モジュールを含み、前記リアルタイム通信アプリケーションは、

前記リアルタイム通信イベントのデータ・ストリームを受信し、

前記リアルタイム通信イベントにおける前記の受信したデータ・ストリームのデータをユーザに出力し、

前記リアルタイム通信イベント中の前記リアルタイム通信アプリケーションとの前記ユーザのインタラクションを判定し、

前記の判定したインタラクションに基づいて、前記リアルタイム通信イベントにおいて受信する前記データ・ストリームのデータ・レートを制御する、

受信機。

【請求項 2】

前記リアルタイム通信イベントにおいて受信する前記データ・ストリームのデータ・レートを制御するために、前記処理モジュールは、前記リアルタイム通信イベントにおける前記データ・ストリームを前記受信機に送信する送信機に制御信号を送信する前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されており、前記制御信号が、( i ) 目標データ・レートのインジケーション、又は、( i i ) 前記の判定したインタラクションのインジケーションを含むことにより、前記送信機は、前記の判定したインタラクションに基づいて、目標データ・レートを決定することが可能となる、

請求項 1 記載の受信機。

【請求項 3】

前記リアルタイム通信アプリケーションとの前記ユーザのインタラクションを判定する

ために、前記処理モジュールは、前記ユーザが前記リアルタイム通信イベントにおける伝送のために前記リアルタイム通信アプリケーションにデータを入力しているかどうかを判定する前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されている、

請求項 1 又は 2 記載の受信機。

【請求項 4】

前記ユーザが前記リアルタイム通信イベントにおける伝送のために前記リアルタイム通信アプリケーションにデータを入力しているかどうかを判定するために、前記処理モジュールは、

前記ユーザが前記受信機においてマイクロフォンをミュートにしたかどうかを判定すること、

前記ユーザが前記受信機においてリスニング・モードをアクティブ化したかどうかを判定すること、及び

前記ユーザからのオーディオ入力及びビデオ入力のうち少なくとも 1 つを検出することのうち少なくとも 1 つを実行する前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されている、

請求項 3 記載の受信機。

【請求項 5】

前記リアルタイム通信アプリケーションとの前記ユーザのインタラクションを判定するために、前記処理モジュールは、遅延が前記リアルタイム通信イベントにおける通信の問題を引き起こしているかどうかを判定する前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されている、

請求項 1 乃至 4 いずれか一項記載の受信機。

【請求項 6】

前記処理モジュールは、

前記リアルタイム通信イベントにおいてデータ・ストリームを送信し、

前記の判定したインタラクションに基づいて、前記リアルタイム通信イベントにおいて送信する前記データ・ストリームのデータ・レートを制御する

前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するようさらに構成されている、

請求項 1 乃至 5 いずれか一項記載の受信機。

【請求項 7】

前記リアルタイム通信アプリケーションとの前記ユーザのインタラクションを判定するために、前記処理モジュールは、前記ユーザの注意が前記の出力したデータに向けられているかどうかを判定する前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されている、

請求項 1 乃至 6 いずれか一項記載の受信機。

【請求項 8】

前記の受信したデータ・ストリームは、ビデオ・データ及びオーディオ・データを含み、前記処理モジュールは、

( i ) 前記リアルタイム通信イベントにおける伝送のために、前記受信機におけるカメラによりキャプチャされた画像内に前記ユーザが存在しないことを検出し、この検出に基づいて、前記ユーザが、前記の受信したデータ・ストリームの前記ビデオ・データを見えないと判定すること、又は

( i i ) 前記受信機において前記の受信したデータ・ストリームの前記ビデオ・データを出力する前記リアルタイム通信アプリケーションのユーザ・インタフェースが、最小化されているか、隠されているか、又は焦点ずれしていると判定すること

により、前記ユーザの注意が前記の出力したデータに向けられていないと判定する前記リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されている、

請求項 7 記載の受信機。

【請求項 9】

リアルタイム通信イベントのデータを処理するよう構成されているコンピュータ・プロ

グラムであって、前記コンピュータ・プログラムは、前記リアルタイム通信イベントの受信機のプロセッサ上で実行されたとき、リアルタイム通信アプリケーションを実施するよう構成されており、前記リアルタイム通信アプリケーションは、

前記リアルタイム通信イベントのデータ・ストリームを受信する動作と、

前記リアルタイム通信イベントにおける前記の受信したデータ・ストリームのデータをユーザに出力する動作と、

前記リアルタイム通信イベント中の前記リアルタイム通信アプリケーションとの前記ユーザのインタラクションを判定する動作と、

前記の判定したインタラクションに基づいて、前記リアルタイム通信イベントにおいて受信する前記データ・ストリームのデータ・レートを制御する動作と、

を実行する、

コンピュータ・プログラム。

【請求項 10】

受信機においてリアルタイム通信アプリケーションを用いて、リアルタイム通信イベントのデータを処理する方法であって、

前記リアルタイム通信イベントのデータ・ストリームを受信するステップと、

前記リアルタイム通信イベントにおける前記の受信したデータ・ストリームのデータをユーザに出力するステップと、

前記リアルタイム通信イベント中の前記リアルタイム通信アプリケーションとの前記ユーザのインタラクションを判定するステップと、

前記の判定したインタラクションに基づいて、前記リアルタイム通信イベントにおいて受信する前記データ・ストリームのデータ・レートを制御するステップと、

を含む、方法。